

令和6年度第1回鳴門市総合計画審議会 議事概要

【日時】令和6年9月5日（木） 午後2時00分～3時40分

【場所】市役所2階 大会議室

【出席者】＜審議会委員21名＞

市橋委員、乾委員、鶴飼委員、恵美委員、小川委員、木原委員、佐古委員、笹委員、佐藤誠委員、佐藤由委員、中田委員、長野委員、西川委員、濱田委員、福山委員、藤村委員、吉野様（布施委員代理）、松本久委員、松本英委員、村澤委員、矢野委員

＜鳴門市関係者22名＞

泉市長、谷副市長、阿部教育長、近藤企業局長、小泉政策監、大林危機管理監、利穂事業統括監兼企画総務部長、西上環境共生部上席理事兼環境共生部長、小椋市民生活部長、笠井健康福祉部長、黒濱こども未来創造部長、池田都市建設部長、阿部産業振興部長、東條消防長、三居企業局次長、小川教育次長、事務局（戦略企画課5名、財政課1名）

【傍聴者】なし

【次第】

1 開会

2 市長挨拶

3 委員紹介

4 議事

（1）総合計画実施計画（令和5年度実績）及び令和6年度行政評価について

（2）総合計画実施計画（R6－R8）について

5 閉会

【会議資料一覧】

資料① 第七次鳴門市総合計画実施計画（令和5年度実績兼評価シートまとめ）

資料② 第七次鳴門市総合計画実施計画（R6－R8）

資料③ 鳴門市総合計画審議会委員名簿

資料④ 鳴門市附属機関設置条例

資料⑤ 総合計画策定に関する要綱

【会議経過】

1 開会后、市長挨拶

2 審議会委員及び鳴門市関係者を司会より紹介

3 議事（1）について、事務局より資料①の説明

4 議事（2）について、事務局より資料②の説明

5 副市長挨拶の後、閉会

主な質疑等、議事の概要は以下のとおり。

◆議事（１）総合計画実施計画（令和５年度実績）及び令和６年度行政評価について

※資料①に基づき、総合計画実施計画（令和５年度実績）及び令和６年度行政評価について事務局から説明。

【委員】

学校教育充実事業について、学力向上の取り組みがなされているのは大変いいことだと思います。ただ、一方で、特に中学生が学校の授業や行事等であまりにも忙しすぎて、地域として防災教育に取り組んでもらおうと学校側に相談を持ち掛けても、時間をとってもらうのが非常に難しい状況です。もう少し、学校生活に余白を作っていただけるとありがたいです。

→小川教育次長

ご指摘の点につきまして、学校現場が多忙になっているということは事実でございますが、地域との連携も非常に重要だと考えておりますので、今後、学校現場等々と相談をしながら進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【委員】

公共下水道整備・合併処理浄化槽普及促進事業について、合併処理浄化槽の転換補助金の補助金額を増額し転換を推進した結果、補助金の申し込みも増え、合併処理浄化槽の転換について一定程度の効果があったと感じています。補助金の申し込み受付については、予算がなくなり次第終了となっているので、合併処理浄化槽の転換をさらに拡充するために、予算を増額していただけるとありがたいと思います。

→池田都市建設部長

ご指摘いただいている通り、年度によって多少の前後はありますが、合併処理浄化槽の転換補助金にかかる予算額はすべて使っているという状況でございます。下水道事業については見直しをしていく中で、合併処理浄化槽と並行して進めていかなければならないと認識しております。したがって、合併処理浄化槽の転換補助金にかかる予算額の話もありますが、補助制度自体を今後どうしていくかということから検討を進めていきたいと考えています。

【委員】

観光誘客推進事業について、鳴門スカイラインの四方見展望台のことですが、展望台から景色を眺めても木が生い茂っていて、せっかくの素晴らしい景色が木でよく見えない状況で大変もったいないと思います。木を剪定することが難しいようであれば、せめて、記念撮影を撮るスペースだけでも、踏み台等を設置して、景色がよく見えるようなポイントを作るなどの工夫をしてほしいと感じています。

➡阿部産業振興部長

国立公園内ということもあり、制限がある中で、できる限り木を剪定させていただいている状況です。先ほどいただいたご意見をもとに、関係部署と協議をしながら、方策を見つけていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【委員】

令和5年度実績まとめについて、成果指標に対する評価の「A」が27事業、「B」が14事業、「C」が4事業、「D」が2事業で、今後の方向性については、「現状維持」が35事業、「拡充」が9事業となっております。このまま事業を続けていただければと思います。

【委員】

なるとまると子育て応援パッケージ事業の成果指標にある出生児童数が少ない理由は子どもを産む女性が減っていることが挙げられると思います。今後どのようにして出生児童数を増やすかを試行錯誤しながら考えていってほしいと思います。

➡利穂事業統括監兼企画総務部長

出生数の減少については、未婚化・晩婚化や結婚に対する意識の変化といったことが複合的に絡み合っていることが要因として考えられます。人口減少は全国的な課題であり、避けられないのが実際のところですが、その減少スピードをいかに抑えていくかが重要だと認識しております。それにつきましては、現在、第3期鳴門市総合戦略を策定する中で、検討してまいりたいと考えています。

【委員】

市民協働のまちづくり推進事業について、地域コミュニティの活性化を図るためには、地域の祭りを優先的に導かなければならないと思います。

➡小椋市民生活部長

鳴門市内におきましては、自治会や町内会などの地域コミュニティに参加される世帯が減少傾向にあります。そういった中で、14地区の自治振興会の皆様を中心に、地域コミュニティの強化を図っているところです。先ほど、地域のお祭りの重要性についてお話しがありましたが、特に災害時においては、地域で顔の見える関係を築いておくことが非常に重要になってきます。自治振興会が主催するイベントを対象とした補助制度も新設したところであり、引き続き、地域の皆様の声を聞きながら、地域コミュニティの活性化を推進していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【委員】

先般、南海トラフ地震臨時情報が発表され、防災意識の高まりが顕著になってきており

ますが、津波避難タワー設置についての進捗状況はいかがでしょうか。

➡大林危機管理監

現在、国や県において、南海トラフ地震の被害想定の見直しを実施しているところです。本市におきましては、今後、その結果を踏まえた上で、鳴門市都市計画マスタープランに基づき、整備方針を検討していきたいと考えています。

【委員】

鳴門市友好コスモス祭りの開催に合わせて、例年8月に堀江地区自治振興会のメンバーでコスモスの種をまいているのですが、今年の夏は猛暑のため、熱中症に近い体調不良を引き起こしました。そこで、コスモスの花の色は黄色にはなりますが、キバナコスモスにしてもらえると、3～7月に種をまいたらいいので、種まき作業をする立場としては、非常にありがたいので検討してもらいたいと思います。

➡小椋市民生活部長

ご提案ありがとうございます。近年は、夏の猛暑が激しく、連日、熱中症アラートが発表されている状況です。ご提案いただきました内容につきましては、鳴門市花街道・地域づくりネットワークの方のご意見を伺いながら検討させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【委員】

第一次世界大戦時に、板東俘虜収容所やその周辺地域において広がったドイツ兵との友好的な交流の歴史の記録を、鳴門市の平和の象徴としてしっかり残すとともに、発信していったほしいと思います。

➡小椋市民生活部長

鳴門市ではドイツのリュネブルク市との交流を50年という大変長い間続けてまいりました。その間には、青少年など若い世代の方にも、多く参加していただき国を超えた相互理解を深めていただいております。また、市内では、5月に戦没者追悼の式典を行っており、市内の中学生に積極的にボランティアで参加していただき、平和を考える機会としていただいているところでございます。また、鳴門市とドイツの交流のきっかけとなります第一次世界大戦の友好の歴史についてですが、これは戦争中に、敵国同士において友愛が生まれたという非常に素晴らしいエピソードです。そういった歴史を多くの方に知ってもらうために、県外に発信して、修学旅行の誘致にも取り組んでいるところでございます。引き続き、こうした取り組みを進めてまいりたいと思いますので、ご意見等いただければと思います。よろしくお願いいたします。

【委員】

災害対策事業について、高齢者や障がい者といった歩行が困難な方が避難する際に、避難しやすいように、例えば、そういった方々を避難時に乗せるリアカーのようなものが

地域に配備されれば安心につながると思うので、ご検討いただきたいです。

➡大林危機管理監

日頃は、防災訓練にご協力いただきまして、ありがとうございます。先ほど、お話しがありましたように、高齢化が進む中、要配慮者の避難方法という点は非常に大切な視点であり、対策が必要だと認識しております。リアカーのようなものの活用ということですが、他の地域で実際にそれで避難しているのを見かけたこともあります。そうした他地域の事例を参考にしながら、こういった形が鳴門市においてはベストかということについて検討させていただきたいと思います。

【委員】

公共交通対策事業について、高島線の地域バスで市立図書館前に停まるのがありますが、便数が少なく、朝は図書館の開館1時間前の8時5分に着く便が1便のみで、帰りの便はありません。図書館は市の教育機関でもあり、多くの市民の方が利用するので、便数を増やしてほしいです。

➡利穂事業統括監兼企画総務部長

地域バスの件につきまして、ご意見をいただきありがとうございます。高島線が1便しかないということで、利用が限られてしまう状況であります。いただいたご意見を参考に、検討してまいりたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

【委員】

学校教育充実事業の成果指標について、小学校の全国学力・学習状況調査の平均正答率と全国平均値との間に約5ポイントの差がありますが、これについての原因分析はどのようにされていますか。

➡小川教育次長

特に、記述式の問題に対する正答率が低いことや無回答率が高いことが、鳴門市の小中学生における課題であると認識しております。そこで、書く力を育て、無回答のままにするのを減らすといったことを集中的に子どもたちに教えていくよう、校長会等においても共有しているところです。

【委員】

今後の方向性が「現状維持」となっていますが、それで、成果指標である全国平均以上を達成できる見通しなのでしょうか。

➡小川教育次長

全国平均以上を達成できるかどうかについては不確定です。現状維持という意味は、現状のまま何もしないということではなく、学校現場の先生方が日々、子どもたちと向き合いながら、学力向上に向けて対策を実施しておられているという意味です。また、令和5年度から学力向上パッケージ事業を開始したこともあり、そういった意味

での現状維持ということでもあります。こうした少しずつの積み重ねが成果につながっていくものと認識しておりますので、すぐに成果が出るわけではないことをご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

【委員】

災害対策事業について、成果指標の目標が防災訓練参加者数 1000 人に対して、実績もびったり 1000 人というのは、実績値の信憑性に疑念が残りますが、その点いかがでしょうか。

→大林危機管理監

こちらの実績値については、各地域で防災訓練を実施した際に参加人数を報告してもらい、積算しているものです。したがって、少なくとも 1000 人は超えているという理解で、実績値を目標値に揃えて 1000 人とさせていただいたところです。

【委員】

道の駅くるくるなるとに来られる県外客の方のために、災害時において避難方法が分かるような案内表示をして、県外の方にもわかりやすい防災対策をすべきだと思います。

→大林危機管理監

参考にさせていただきます。

◆議事（２）総合計画実施計画（Ｒ６－Ｒ８）について

※資料②に基づき、総合計画実施計画（Ｒ６－Ｒ８）について事務局から説明。

【委員】

国際・国内交流事業について、ドイツ・リューネブルク市と鳴門市との交流が 50 周年を迎え、年々、青少年の方の海外に対する意識が高まっていると感じています。今回の使節団派遣の募集については、15 名の定員に対して 46 名もの応募があり、これまでの活動が実を結んでいっていると思いました。引き続き、国際交流を推進してほしいと思います。

→小椋市民生活部長

国際交流について、ご意見いただき、ありがとうございます。青少年の使節団交流は、開始して間もないこともあり、難しい部分もありましたが、ホームビジット等を通した、これまでの市民ぐるみの交流の中で、その土台が築かれてきたものと認識しております。今は、インターネットや SNS を通じて、いつでも交流ができるような時代になりましたので、ますます交流が高まっていくものと思いますし、市としてもその促進を図っていきたいと考えています。

【委員】

スポーツ活動推進事業について、温水プール建設構想についての進捗状況をお聞きしたいです。

→小椋市民生活部長

現在、プールと市民利用を目的とした体育館が一体となったスポーツ施設の基本構想について策定作業を進めております。よろしくお願いいたします。

【委員】

文化会館の工事の進捗状況を分かる範囲で構いませんのでお聞きしたいです。

→利穂事業統括監兼企画総務部長

工事施工業者を決めるプロポーザルを実施したところ、2社より応募がありましたが、昨今の物価高や人手不足により、2社とも不調に終わったところです。そして、昨日、議会において予算の増額補正が認められ、再度、プロポーザルを実施する運びとなりました。その後、11月頃に契約を行い、予定通り、令和9年6月開館を目指して進めていきたいと考えています。

【委員】

地域の美化のために、地域の草刈りをしているが、市の方で刈った草を回収しにきてくれるのでしょうか。

→西上環境共生部上席理事兼環境共生部長

いつも地域の活動にご協力いただきありがとうございます。現在の状況を申し上げますと、クリーンセンターの廃棄物対策課で、ボランティア袋としてごみ袋を一人10枚配布しているところです。刈った草につきましては、そのごみ袋に入れてもらい、ごみの収集日に出していただくか、直接クリーンセンターに持ち込んでいただくかになりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

【委員】

現在、鳴門渦潮高校や鳴門高校に県外からの進学者が増加しており、高校の寮だけでは足りず、民間の賃貸住宅を利用している状況です。先ほど、人口減少対策についてお話しがありましたが、一時的な効果になるかもしれませんが、例えば、市の方で生徒の受け皿となるような寮を整備していただけますと、たくさんの県外の生徒が集まり、鳴門の魅力を知ってもらう機会となり、将来的には定住者が増えていくことも期待できると思うので、ご検討いただければと思います。

また、スポーツや文化に関する市の表彰などで、「鳴門市在住であること」を表彰条件にしていることがよくありますが、現在は、市外在住の生徒も多くいて、その生徒たちも鳴門市の高校の代表として活躍しているのだから、今後はその条件を撤廃する方向がいいのではないかと思います。

→利穂事業統括監兼企画総務部長

県外出身の高校生が高校の３年間で鳴門で住み、鳴門の魅力を知ってもらい、将来的に鳴門に定住してもらえるようにするには、鳴門に仕事をつくり、人の流れをつくり、結婚・出産・子育ての支援を行い、鳴門の魅力をPRしていくことが重要だと考えています。そういったことを現在策定中の第３期鳴門市総合戦略の中でも検討していきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上